

と しょ かん 宇 治

No. 1

(創刊号)

'82. 10. 1

宇 治 市 民 図 書 室

〒611 宇治市宇治里尻71-9

電話 (21) 4049



創刊号によせて

市民図書館は、昭和四十年九月市民会館完成と同時に、市民文化の高揚を目指して発足しました。当時は館内閲覧が中心の活動でありましたが、その後、読書活動の普及、図書利用者の拡大を図るため、館外貸出をその業務の中心に据えてまいりました。

地理的条件による利用の制約を解消するため、昭和四十四年十月移動図書館「そよかぜ号」の市内巡回を開始し、また、笠取地域には集会所に図書コーナーを設けるなどして、図書利用者の拡大に努めてまいりました。その結果、貸出図書数、利用数は年々増加をみています。

なお、読書活動の更なる普及振興を図るため、読書クラブ協議会、児童文庫連絡協議会等読書活動推進団体との連携を密にしながら啓発事業に取り組んでいます。

科学技術が日々に進歩してくる今日の社会にあっては、私たちの物質面の生活に多くの潤いをもたらしていることは確かであります。しかし、精神面の生活には、否定的側面を生み出してきていることを見逃すことはできません。例えば、労働過程におけるよるこびからの疎外、物ごとの価値基準の混乱、低俗文化の氾濫等の現象がその一つです。

精神面の生活を豊かにすることは、豊かな人生をおくることにつながります。そのためには、高度な文化に触れ、親しみ、そこから、更に生活を高める文化を創造してゆく気持を大切にしたいものです。

人生に迷いを生じた時、ただ一冊の書物により、希望を持てたり、明るい未来さえ見えてくることもありましょう。図書館だけが、市民文化の高揚に少しでも役立てば、幸いに存じます。

創刊号の発行に当り、その内容充実のために市民各位のご協力を賜わらんことを念じて、ごあいさついたします。

館長 竹 中 宏

一つの出合いから

宇治市読書クラブ協議会
会長 前川 桂子

私達宇治市読書クラブ協議会は図書室との出合いに始まり、仲間づくりの大切さを見つめ、小さな出合いから大きく広がる出合いを願って、知恵を寄せ合い協力し合っ活動してきます。その活動の中で、千年の歴史を持つ宇治のルーツを辿り、古典に親しみ、心の通いあう「ふるさとづくり」ができる喜びを共にしたくて、「源氏物語を学ぶ会」を作り、今「我が町宇治・宇治川と共に」の歴史学習会を開催しています。

人も又、それぞれに人生の中で色々な出合いにより自分を見つけ自分を育てています。図書室から貸りる一冊の本にも同じ本を通じて読んだ方への近づきを感じ、本によってまだ見ぬ世界を知り、語りかける本のメッセージに耳を傾け、一人では見つけられない色々な出合いに「読書は心の窓」と言われている価値を感じます。

今は秋。図書室から色々な出合いを盛り込んで、図書館報が発刊するとの事。「文化の秋」「芸術の秋」「読書の秋」と館報を通して心の窓を開けあう語りかけも可能ではと、それを楽しみにしています。

毎年要望を繰り返し、大きな活動の一つであった中央図書館建設の日も間近かです。その市民の図書館で皆さんと出合える日を待ちつつ、市民の図書室として努力していただいている図書室に、新たな親しみが増える事に感謝しています。

館報によせて

宇治児童文庫連絡会

代表 平 櫛 紀代子

館報の発刊にあたり、心よりお祝い申し上げます。

情報化社会といわれる今日、図書館は市民生活と深く結びつき、情報や知識を得るために社会が図書館を必要としています。人生の楽しみの一つとして読書をする人を知りたい、学びたいという願いのもとに読書をする人、利用の目的は様々ではありますが、あらゆる人達の多様な要求に応える図書館の役割は社会の発展、文化創造の担い手として重要な存在となっています。

私達は「子どもの身近によい本をより多く」という素朴な願いのもとに、宇治市内各地で児童書の貸出を中心とする文庫活動に取り組んでいます。「最近の子どもは読書をしない」と言われますが、生まれつき本嫌いな子はいませんが、身近に心を把えるすばらしい

本があれば、どの子もみんな、きっと本好きな子に育つに違いありません。

現在、文庫では市民図書室から団体貸出をはじめ、種々のご援助をいただき、文庫活動を支える大きな力となっています。

身近に役立つ図書館があれば読書は生活の一部となり、市民生活に豊かさ、潤いを与えてくれるのではないのでしょうか。子ども大人も老人も気軽に利用でき、図書館利用にハンディキャップをもつ人も安心して使える図書館を、今、市民は切実に望んでいます。

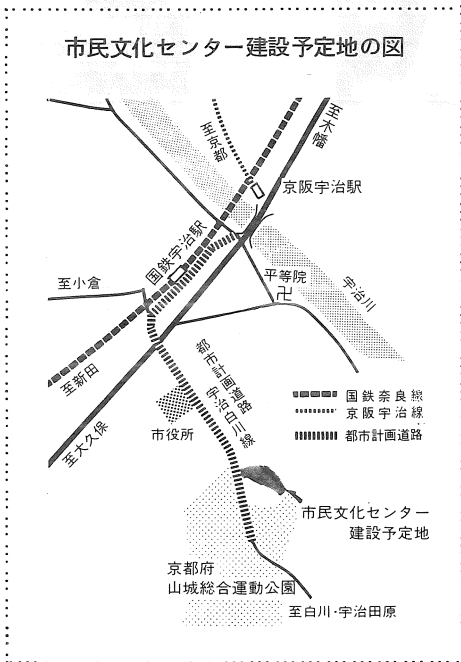
この館報が図書室と市民のパイプ役として、より一層市民に親しまれる宇治市民図書室の充実、発展の手がかりとなりますことを期待いたします。

宇治市図書館建設のうごき (1)

「宇治市にも図書館を」と、早くからの市民の要望にこたえようと、市は折居国有林の払い下げを機に中央図書館を市民文化センター内に建設する基本計画をまとめました。

市民の文化、社会教育活動の拠点となる市民文化センター内の中央図書館は市の総合計画の「歴史かおる文化創造の都市」構想の中心となるべきもので、文化施設の核となり、文化都市のイメージづくりに大きな影響を及ぼすこととなります。

市では基本計画をもとに、だれもが気軽に立ち寄れ、本に親しめる利用者ニーズに対応できる機能と構造を備えた図書館にしようとする基本設計作業に入り、59年秋には開設する予定となっています。



市民のなかの図書館へ

— 昨年度の図書館 利用状況から —

昨年度の利用状況のまとめから一部抜き出してみました。蔵書は図書館開設当時、約千二百冊が昨年

末には四万七千二百九十九冊(内児童書一八三〇一冊)となり、前年度より約五千冊弱の増。貸出冊数は十六万冊。前年度より約一万八千冊増。これは人口一人当たり、一人貸一冊、一人貸一冊以上したことになる。貸出の内訳は児童書が50%を超え、一般書の中では文学書が60%を占めています。

図書館利用の統計図

年度	総 数	図 書 室			移 動 図 書 館			その他	その他
		一般書	児童書	計	一般書	児童書	計	団体貸出	資 料
56	47,299	19,627	7,889	27,516	9,371	9,912	19,283	500	143

年度	総 数	図 書 室			移 動 図 書 館			
		一般書	児童書	雑誌他	計	一般書	児童書	計
56	163,727	39,966	51,815	1,454	93,235	28,519	41,973	70,492

年度	総 数	内 訳					
		一般男	一般女	計	児童男	児童女	計
56	6,444	1,041	1,467	2,508	1,936	2,000	3,936

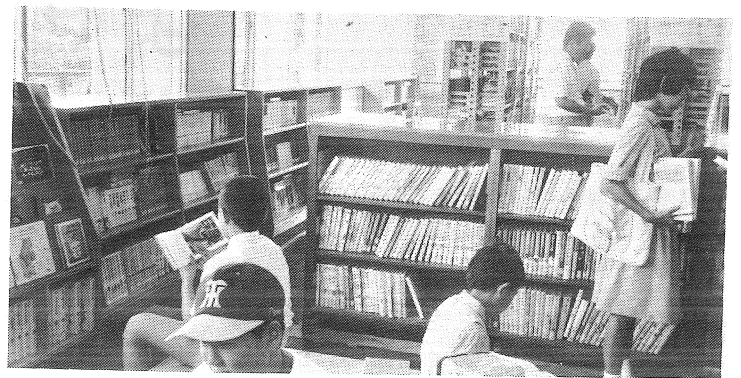
年度	登録世帯数	1 巡回平均利用世帯		1 巡回平均 1 世帯貸出冊数	
		計	計	計	計
56	1,899	33	9		

登録も個人貸出で、前年度より四百人増。世帯貸出で百世帯増となり、移動図書館を含めた図書館利用者は人口の八・二%となり、二十五人に二人は図書館を利用していることとなります。図書室が今後とも、ますます市民生活の中に定着し、利用されることを願っています。

母として

五ヶ庄 神谷 加津恵

「子ども達に良い文化を」と、学生時代、児童文化研究会というサークルで、日曜日毎に地域子供の為、走り廻っていたのが、つい先日のように思えるのに、今では私も一児の母となった。宇治に来て一年。狭い宿舍生活で専門書は押入の隅に追いやられたつも、



唯一の大きな書棚を占領しているのは児研時代に求めた児童文学関係の本。童話。満二才までアメリカで過ごし、日本のTV文化と無縁だった息子がその本棚から最初にひっぱり出したのは「きかんしゃやえもん」と「小さなうち」だった。オモチャと言えば、「car」という程カーキチで、最初は唯、絵の中の車を指さして喜んでいたが、読んでやると結構おとなしく聞き入るようになった。地味な絵だけど、物語の巧みさもあり、幼い心がひき込まれていくのが、膝の息子の様子から私に伝ってくる——確かな手ごたえ。以後、私の本棚には幼児向き絵本が一冊又一冊と増え続けている。最近やっと友達もでき、四五人の仲間と朝から夕まで喧騒極まりない三歳児。が、皆とても本が好きで、読みかかせを始めると熱心に本に見入り、物語の世界を主人公と一緒にかけ廻る。いい年をした私も……。

☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆

福角 坂野 禎子

下の子供はまだ赤ちゃん。ちょっと図書室までは遠い。でもやっぱり本は読みたいと移動図書館をよかせ号に来ていただくよう必要な署名を集め、近所の奥さん達と宇治市歌の高らかな旋律をワクワクしながら聞いた日のことを、つい昨日のように思い出します。

でもその時低学年だった上の子供がもう大学生になるのでから十年余りのおつきあいとなり、児童書から冒険、探偵物、歴史物語と子供の成長につれ、本の内容も変わってきましたが、相変わらず我が家の読書層は巾が広く、明治生の母から高校生まで、それぞれ好みの物を選ぶのは今もって至難の業といえるのであります。

母には明治の作家のものと大分傾向は分ってきましたが、主人公と高校生のためミステリーは、もうこれは読んだと文句を言われることもしばしばで、なかなか大変です。私は忙しい生活の中でつい軽いもの、エッセイとか、短編のもの、紀行文的なものが多く、我ながら進歩がないかと反省しています。でもよき図書仲間を得て、私なら借りないような本を教えてください。人間を感じ方の方々の面白さをつくづく感じる昨今です。本屋さんの店先でベストセラーにちらちら眩惑させられるのでは

ない本を選び、思いがけない本にぶつかると楽しさをよかせ号は持ってきてくれます。

どうぞ、これからもこの楽しさを私達のために運んで来てくださることを心より願っております。

南陵町

森本 由美子

そよかせ号がこの地域にお目見えして以来すぐに駆つける事のできる気軽さと便利さを身近に感じて随分利用させていたただいています。ただ当初の頃に比べて色々な面で変化してきている中で「利用しにくくなった」等の声も耳にするのですが、巡回を心待ちにしています。また忘れられた頃に巡ってくる交換日については貸出サイクルを縮少してほしい。又現行の時間では子供自身の手で選んで借りる楽しみが得られない。家族の好みを考慮しながら、

一手に引き受け迷いつつ選んでいく私ですが「子供と共に子供の手で自由に選べる時間帯になったら」と話しています。本を探しながら思うのですが「趣味に関する本」が少ないですね。職員の方々のご

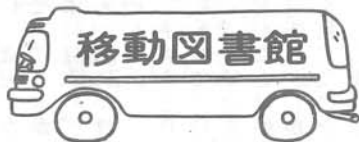
そよかせ号によせて

苦労は大変でしょうが、当日音楽やテープを流して巡回を知らせてくださいますと助かるのですが、終りに地域の利用者から身近な文庫として、より愛されます様に殊に自動車文庫ならではの特色を生かした宇治名物「そよかせ号」として発展されまます事を期待して声援を送り続けます。

福角 小川りえ子

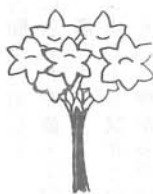
宇治市に住んで十年目を迎え、そよかせ号との付き合いも同じ位の年数になりました。わざわざ図書室のある市民会館まで出向く必要のないこのそよかせ号の存在は、出不精で読書を楽しむ私にとって大変貴重なものです。

利用ははじめの頃に比べて、貸出冊数も二十冊と枠がひろがり、大型の新しいバスに変わると共に蔵書の数も多くなり、大変利用しやすくなりました。バスの巡回日に本の交換に行くのも楽しみの一つです。決して多くはない本の中から読みたかった本を見つけたら、好きな作家の著作に出合えたりする喜びは格別



- 一世帯に20冊まで。
- 簡単な手続きで貸出します。
- 貸出期間は次の巡回日(約45日)までです。
- ぜひ一度近くの駐車場(28カ所)までお越しください。
- 日時、場所は毎月1日号の市政だより「そよかせ号巡回日程」をご覧ください。

です。本を読むことによって自分の体験できない様々な社会現象を知ることや研究者達の長年の血と汗の結晶を学ぶ事や、小説の持つ限らない面白さに浸ることは何物にも変えがたい喜びであり、精神に充足感を与えてくれます。地域の人々の読書要求に答える為に、市民図書館を利用しにくい人達の為に、今後増々移動図書館が充実していくことを強く望んでいます。



神明岡 副慶子

山紫水明の宇治に嫁いで来て、七年余り。私がそよかせ号を利用してするようにたきかけは、宇治市公民館の幼児家庭教育学級を受講して、そこで育児や児童心理等を学ぶうち、私自身も勉強し、成長していかなければならない事に気付いた時です。もっと本を読みたい。手近な所に本はないかしらと思っている時、そよかせ号のある事を知りました。そよかせ号に初めて乗った時は驚きました。きちんと整理された棚に色々な種類の本がぎっしり並んでいます。何を読もうかしらと胸がわくわくしてきます。読みやすい小説に洋裁の本、手芸の本、料理と欲ばって選びます。一緒に来た五歳と二歳の子供も自分達で絵本を捜して、「お母さん、これいい」と言います。家に帰ると子供達は早速本を開けて見ます。「汚さないでね破らないでね。みんなの本だから大切にね」といふもの私の口癖です。「地獄のそうべい」も親子が、空で言える程読んで聞かせました。多くの本に巡り合えた事ととっても感謝しています。そよかせ号さん、ありがとうございます。



地域文庫から

半白 植田 祥

私の貧しい読書歴を辿ってみますと、小学三年の頃のことです。それまで読むものといえば漫画か月刊雑誌であったのがはじめて本らしいものに出合い「本て、なんておもしろいだらう」と目を見開かされる思いを持ったものでした。その後、この思いがずっと私の読書を支えてくれました。私の子供の頃と比べると、今日

の子供達は、あり余る程の本の中に囲まれながらも本を手にする前に他のより刺激的な楽しさに心奪われてしまっているように思います。しかし、何かのきっかけで一度本の楽しさを知った子供は、本物の楽しさやどういふものかを知ります。心躍る体験を次々と求めていきます。地域文庫を手伝いながらもいつも思うことは、どんな子供でも子供は決して本が嫌いではない。与え次第では本が大好きになれるんだということです。ただ早い時期に心と響きあえるような本と出合える機会を持たなかった為に通り過ぎてしまっているのに他ならないのです。もし子供達の囲りに身近かに本と出合える場があり、専門の奉仕員による良き活動があれば、子供達はどんなにか今まで知らなかった豊かなものを得ることでしょう。地域文庫で子供達にしてやれる力の限界を感じるにつれ、地域の中に溶け込んだ図書館の働きを願わずにはいられません。何年か先の中央図書館の誕生を、おおいに歓迎しつつも地理的に私達の生活の場からは遠く、実際利用できるだろうかと不安を持ってしまうかもしれません。できるなら西小倉の地にも、早い時期に分館を作っていただき、子供達の未来に向けて質のいい楽しさをたっぷり味わわせてやっていただきたいと願っています。

図書館ぐらし

木幡 桜井 綾子

私はよく冗談に「税金は全部返してもらいます」と言いながら、せっせと本を借りている。市の恩恵を受けていると実感するのは、ゴミ収集、くみとり、図書館だからである。本あつての人生という想いが深い、まあこれも個々の趣好の問題であろう。

現在の私の楽しみの一つは、家人が出張などで夕食の不要な時の図書館ぐらしである。昔は街のショッピングも嬉しいことの一つであったが、今更着飾るのも何か虚しい。昼食を終えるといそいそと図書館へ出掛ける。学生に混って先づ、新刊雑誌を四・五冊、目の前に積上げて、面白そうなページをとばし読みしながら、時々、こんな贅沢な読み方が許されてよいのだろうか戸惑っている。

そういった意味からも、宇治市の図書室に閲覧用の机が少ないのは室自身も不本意であろうけれど、やはり本来の姿ではない。貸本屋ではないのだから、借り貸しがあれば事足りるというのは感心出来ない。シーンとした図書館で本の頁を繰るといふ独特の空気が大好きである。年の故の郷愁かなと思ったりもしている。

夕方になると借りた本をぶら下

げて、帰る満された想いは感謝。良い時代である。私の願いは、早く現役を引退して、家族の誰からも当にされず、一日中図書館ボランティアで暮らしたいということである。

高二 山口 景子

私は図書館をフルに活用している宇治市民である。

土曜日の午後、青いナップザックを背負って宇治を走る人物を見掛けたら多分私である。家族名義で八枚もカードを作り、手当りしだいに貸りる。乱読雑読甚だしい松谷みよ子に筒井康隆、遠藤周作からはじまって、ソルジェニーツェン、毛沢東、あげくの果てには「誰でもできるホームナース」と全く脈絡がない。ペースは一日一冊、ジャンルはなし。図書館さまさまの人間は、案外多いと確信せざるをえない昨今である。

大部分の方々は、多少おきたい所と思っておられるかも知れない。読書自体に先入観を持たれる方も少なくないであろう。だがそういう人も、ちょっと資料がほしい時には、きつと来られる筈。私はこれが大切だと思う。自分が来た時に来れば、それはフルに活用することになるのだ。今更読書の喜びなど付記しないが、前者の方々には一言書かせていただく。気楽に気楽に。マナーはどこへ行って

も同じです。

最後に高校生の立場から、月一冊でも良いから、絶対読書はした方がよい。博学は若いうちだ。必ず何か得るものがある。一例を挙げれば受験。本を拒否する者は広範囲にわたって泣かされるだろう。国公立にせよ私立にせよ。現国にせよ数学にせよ。

このような支離滅裂で稚拙な駄文ではあるが……。
今後の図書館の発展を願う。

私の図書室利用法

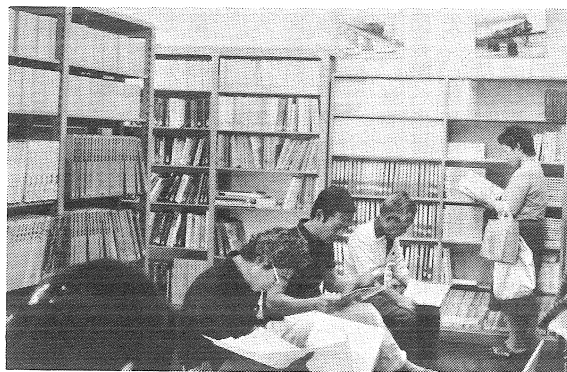
好 廣 真 一

私たちは、五年前に宇治へ引越してきた。京都市にいたころは市立図書館がないため、学校以外の図書館を利用したことがなかった。こちらへ来てからは、家から近いせいかもあって、市立図書室へ立ちよってみた。気楽に閲覧したり借り出せるし、係の人も親切だと感じたが、後者は京都市の役人が不親切すぎたせいかもしれない。何度か行くうちに、小説(とくに日本のもの)とこどもの本はかなりあるけれども、そのほかはほとんどない。だから、調べものをするにはたいして使えない。ただ、宇治市についての資料はいくらかあって、利用したこともある。以

前は小説も買って読んでいたが、図書室にあるのをさいわい、原則として買わないことにした。前から関心をもっていた、司馬遼太郎有吉佐和子、大江健三郎といった人の作品を一人ずつ読みあさることができて、なかなかよかった。そうするうちに、上の娘が、本を買ってもらったり読んでもらったりする年ごろになってきた。本屋で見ると、こどもの本はくさるほどあって玉石混交だ。そこで図書室で品定めすることにした。かたっぱしから見て、面白い、いいところがあると思っただけで借らないので時間がかかったが、絵本を見る眼は養われた。娘が4才のころにいちばん喜こんだのは「じごくのそうべえ」、ついで「てぶくろ」だった。こうしたとびきりいい本は買うことにした。

日本の絵本の水準についても気になることが出てきた。例えば、「ぐりとぐら」は有名な絵本だが、その中に描かれている風景は、日本のどこかの地域のもので、特定の外国のものでもない。どこにもない風景なのである。作者は日本の自然を見ていないとしか思えない。もし、つくりごとの世界を描くつもりなら、もう少し念入りにこしらえてほしい。日本のものでは、民話、昔話の風景にかえて生き生きしたものが見られる。これに比べて「もぐらとズボン」

「ティンカーとタンカー」「ねずみのアーサー」のシリーズには、それぞれの国の風景があざやかに描かれていた。こどもは成長とともに、図書室へつれていくと、自分で本を選ぶようになった。親も絵本から読みものに目を向けることになるが、そのときも、品定めする眼力をつけるために、図書室を利用しようと思う。



図書室 ごあんない

- 開室時間 午前9時～午後5時
- 休室日 毎週月曜日 毎月末日
国民の祝日 特別整理日
12月28日～翌年1月4日
＝土曜日もあいてます

＝日曜日もあいてます＝
●閲覧 図書室へ入るのも、室内で本を選ぶのも何の手続きもいりません。

＝ご利用はすべて無料です＝

- 貸出 本の貸出しは1人2冊以内、貸出期間は2週間です。最初だけ登録の記入をして下さい。登録は宇治市にお住まいの方、市内に通勤・通学されている方ならどなたでも。もちろん、0才からOKです。

＝借りるのはかんたん＝

- リクエスト…本の予約 お読みになりたい本が書架にないときは、予約票にご記入のうえ、係員におわたしてください。貸出できるようになりしだい、電話でお知らせします。

- レファレンス…ご質問をどうぞ。図書資料、読書についての相談などは、お気軽に係員にお申し出ください。

このほかにも図書室では、毎月新着図書のご案内を用意していますので、ご利用ください。

(絵本・幼児・小学校中級向き)

「巡礼をしようと思ってもみなかった昔から、私は三室戸寺へはよく訪れていた。宇治が好きで度々訪れていたからだ……」
西国巡礼明星山三室戸寺の書きだしである。古典の舞台としての宇治。「蜻蛉日記」・「源氏物語」にふれ、又歴史の舞台として菟道稚郎子の伝承にふれながら、風景の美しさと歴史の悲哀を伝える。巡礼の旅でのさまざまな出会いを、はさんで、さりげない文章ではあ

寂聴巡礼

瀬戸内寂聴／平凡社

先に食道ガンのため亡くなった俳優木村功の生涯を妻がつづつた愛情あふれる鎮魂の書である。前半はガンとの壮絶な闘い。後半は上京してからの結婚生活、俳優としての歩みに分かれている。病魔による闘病の描写は目をそむけるものがあるが、俳優「木村功」を愛する人に一読をすすめるラプストリーといえる。



(新)
(刊)
(紹)
(介)

功、大好き

木村梢／講談社

るが、読む人の心に哀愁を漂わせる名文といえる。「三室戸寺」他32編をふくむ。

《児童》

小さないのちの歌

ダウン症とたたかった少年

高橋泰子／ポプラ社

齊藤修平くんは、たった9才でこの世を去った。それも父子心中で……。彼はダウン症児で、虚弱な体質と知恵遅れの障害をもっていたが、家族やクラスの友達などのきびしい、しかし暖かい励まし

しまふくろうの

みずうみ

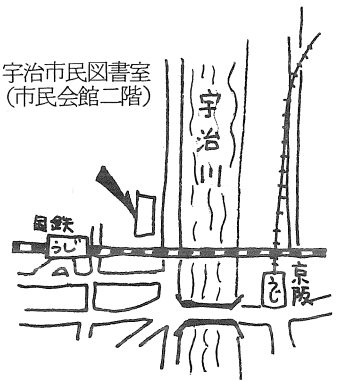
(小学校中級以上向き)

しまふくろうは、北海道だけにすむ絶滅寸前の大型ふくろうです。この本は、北の森の湖で深夜くり広げられるふくろう親子の魚とりの話ですが、おさえた色調ながら力強い、躍動感あふれる木版画と、簡潔な文章で、ふくろう親子の情愛と、生きものの生のきびしさを、見事に描き出しています。

(絵本・幼児・小学校中級向き)

◆図書室の場所

宇治市民図書室
(市民会館二階)



＜交通＞

- 京阪宇治駅 徒歩5分
- 国鉄宇治駅 徒歩10分
- 京阪宇治交通 宇治橋西詰下車 5分

市民会館の2階にある図書室からは、美しい宇治川といういろいろな列車を見ることができるとですよ。



記念講演会

*と き

昭和57年10月27日 (水)

午後1時30分から

*ところ

宇治市民会館大会議室 (3階)

*テーマ

「藤原文化と宇治」

平安博物館館長

角 田 文 衛 氏

〈主要著書〉

承香殿の女御・紫式部とその時代・王朝の映像・日本の後宮・平家後抄・おもしろく源氏を読む

*主 催

宇治市民図書館

※参加は無料です。多数お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

・ところ 宇治市民図書館 (十時~十二時)

「えほんの会のごあんない」 それぞれが、好きな絵本を持ち寄っての読み聞かせの勉強会です。アットホーム的な雰囲気なかで互いに学びあっています。絵本の好きな方、興味のある方の参加をお待ちしています。見学の方も歓迎します。お気軽にどうぞ。

読 書 週 間

読書はあなたの無限の宇宙

10月27日~11月9日

子どもの本連続講座

主催 宇治市民図書館

子どもと本との出会いは、大切です。感受性豊かな子どもは、本の世界に想像の翼をはばたかせ、豊かな心と人生の指針を本の世界から、もちかえるでしょう。子どもは本が大好きです。近くによい本があれば、子どもはどんな本をよむでしょう。子どもの本について勉強し、子どもとすぐれた本との出会いの機会をつくりませんか。

日程と内容

Table with 6 columns: No., Date, Time, Venue, Theme, Speaker. It lists four sessions from 10/1 to 11/8.

※各講義日の2日前までに、宇治市民図書館までお申込み下さい。電話 (21) 4049番

編 集 記

後 記



朝夕、めっきり涼しくなり、秋の夜長、じっくりと読書をの季節になりました。

この館報いかがでしたか？

発行すると決まって、一カ月余慣れない者同志、気ばかり先に立ち、日の過ぎるのの早いこと...

しかし、多くの方々のご協力、ここに第一号を発行することができました。どなたも心よく原稿依頼にに応じていただき、厚くお礼申し上げます。

今後、年二~三回発行の予定ですが、一方的に行事や報告などのお知らせの館報ではなく、市民の皆さんと図書館と対話しながら、生きていく図書館づくりをめざすパイプ役として、また、市民相互の声のひろばとなる館報へ取り組んでいきたいと思っています。どしどし、ご意見・ご感想をお聞かせいただき、今、一層のご支援いただきますようお願いいたします。